

経営比較分析表（令和4年度決算）

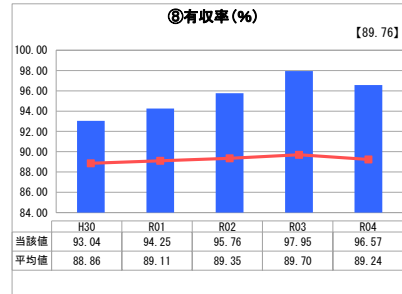
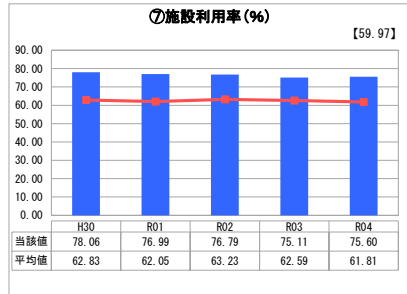
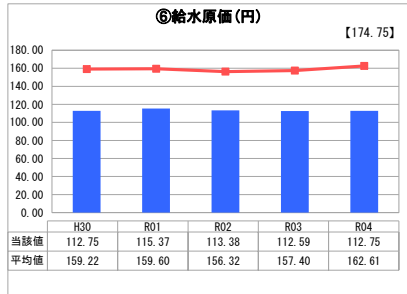
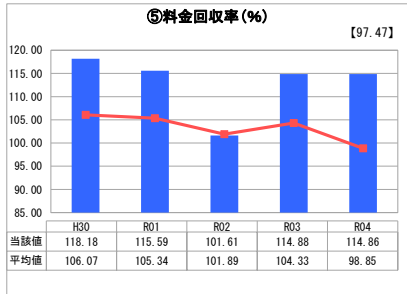
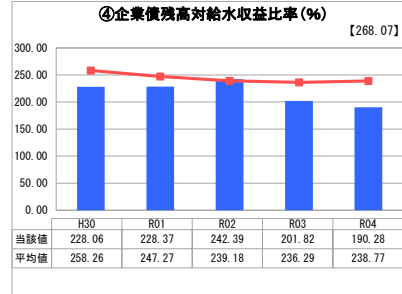
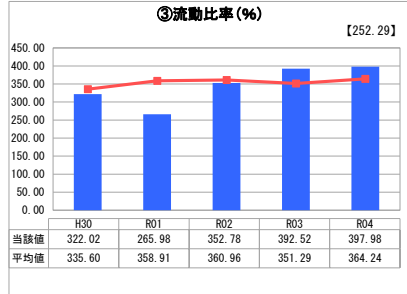
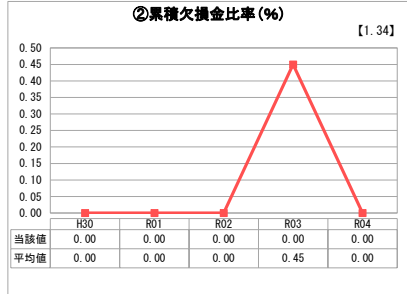
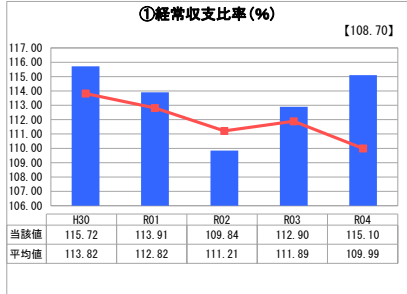
滋賀県 草津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	83.97	99.85	2,431	

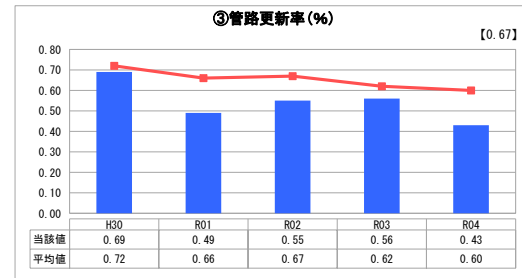
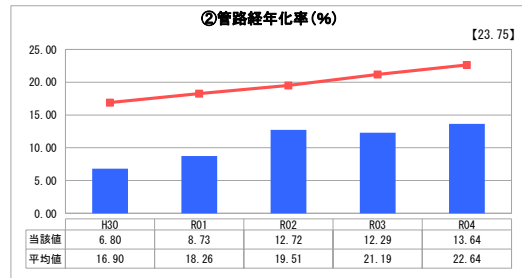
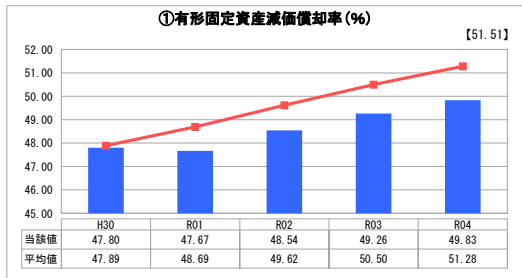
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
138,336	67.82	2,039.75
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
138,391	48.65	2,844.62

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①単年度の経常的な収支の比率を表す経常収支比率は、100%を超え、黒字となっています。
 ②短期的な債務に対する支払い能力を表す流動比率は、100%を上回っており、良好な資金状況です。
 ③企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値を下回っておりますが、今後の施設・管路の更新等を見据えて注視していく必要があります。
 ④料金回収率は費用に対する料金回収の割合ですが、100%を超えており、適切な料金収入の確保ができています。有収水量の減少により、年々低下していることから、今後も注視していく必要があります。
 ⑤有収水量1㎡あたりの費用を示す給水原価は、類似団体平均値を下回っており、効率的な運営が行われていると言えます。
 ⑥施設利用率は、類似団体平均値を上回っており、施設の効率的な利用ができています。
 ⑦施設の稼働が収益につながっているかを判断する有収率は、類似団体平均値を上回っており、効率的な配水ができています。今後は老朽管が増えていくことから、引き続き漏水対策等を継続し、効率化に努めます。
 なお、①、④、⑤の令和2年度の値は新型コロナウイルス感染症の経済的影響を踏まえ、水道料金の基本料金を免除したことにより、他の年度と傾向が大きく異なります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値に比べ低くなっています。
 ②管路経年化率は、法定耐用年数を超えた管路延長の割合であり、老朽化率を示しています。類似団体平均値に比べ低く、新しい管路が多い状況ですが、今後は経年管が増加するの見込んでいます。
 ※令和2年度の管路経年化率は報告誤りであり、10.56%が正しい数字です。
 ③令和4年度は、管路の延長に対する施工単価が高い、基幹管路の更新を実施したことにより、更新延長が短くなり、令和3年度の更新率および類似団体平均値に比べ低くなっておりませんが、今後も引き続き、限られた予算や人員の中で、経年管の更新を計画的に進めていく予定です。

全体総括

本市の水道事業は、通水59年目を迎えます。近年では、人口は増加しているものの、物価高騰等による節水意識の浸透や節水機器の普及により、給水収益は伸び悩んでいる傾向にあります。そのような中、浄水場の耐震・浸水事業や老朽管路の更新等、災害に強いライフラインの確保を目指して施設整備を進めています。
 令和4年度決算は、料金回収率は100%を超え、給水原価も平均を下回り、良好な経営状況であると言えますが、給水収益は年々減少しております。今後も物価高騰等による水需要の動向に注視しながら、施設・管路の耐震化や老朽化による更新需要に着実に対応するため、より一層経営の健全化に努めてまいります。